

## 「やまぐち障害者いきいきプラン（2018～2023）」の 主な実績について

### 本プランの概要

#### 《基本理念》

障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重しあいながら  
共生する社会の実現

～誰と、どこで、どのように生活するのかを自らが選択できる社会を目指して～

#### 《施策体系》

施策分野	基本的な推進方向
I 障害への理解を深め、共に生きる社会の実現	1 相互理解の促進 <b>重点施策</b>
	2 差別の解消、権利擁護の推進
	3 地域における福祉活動の充実
II 自立生活を支える基盤整備	1 相談支援・連携体制の整備 <b>重点施策</b>
	2 生活支援体制の整備
	3 障害児支援の充実
	4 保健・医療提供体制の充実
III 地域でともに暮らせる、住みよい生活環境の整備	1 地域生活移行の推進・地域定着に対する支援 <b>重点施策</b>
	2 福祉のまちづくりの推進
	3 情報環境・意思疎通支援の充実
	4 安全・安心の確保
IV 自立と社会参加に向けた雇用・就労促進	1 総合的な就労支援 <b>重点施策</b>
	2 雇用の場の拡大
V 個性と能力を發揮できる教育・社会参加	1 障害者スポーツ・文化芸術活動の振興 <b>重点施策</b>
	2 教育支援の充実

### 重点施策の取組・実績

#### ① 相互理解の促進

- ・ 障害者週間等を通じて県民の障害への理解促進を図るとともに、障害のある方に対してちょっとした手助けや配慮を実践するあいサポート運動を県民全体で取り組む運動として推進を図りました。

<あいサポート運動に係る取組状況>

区分・年度	H30	R元	R2	R3	R4	R5
あいサポーター数 (累計)	18,424人	24,761人	26,256人	29,083人	32,435人	35,604人
あいサポート企業・ 団体数(累計)	172企業・団体	208企業・団体	224企業・団体	245企業・団体	267企業・団体	292企業・団体

- ・ 障害者差別解消法の改正等を踏まえ、県民の障害理解の一層の促進が図られるよう、令和4年10月に「障害のある人もない人も共に暮らしやすい山口県づくり条例」を制定しました。

## ② 相談支援・連携体制の整備

- ・ 障害のある人とその家族が、多様なニーズや障害特性に応じた相談支援を身近な地域において受けることができるよう、広域的・専門的な相談支援機関と各地域の支援機関との連携による相談支援体制の充実を図ってきました。
- ・ 県医療的ケア児支援地域協議会を設置して、医療・福祉・教育等の関係分野の連携体制を構築するとともに、医療的ケア児支援センターを県内2か所に設置して家族等からの相談に応じてきました。

<発達障害者支援センターにおける取組状況>

区分・年度	H30	R元	R2	R3	R4	R5
相談支援件数	1,713件	1,864件	1,929件	2,166件	2,631件	2,552件
関係機関への助言件数	103件	111件	127件	352件	318件	266件
外部機関や地域住民への研修回数	174回	151回	49回	107回	151回	189回

## ③ 地域生活移行の推進・地域定着に対する支援

- ・ 本人の希望に応じて地域で暮らすことができるよう、市町における「地域生活支援拠点等」の整備を支援するとともに、住まいの場の確保、地域の理解の促進等に取り組んできました。

<地域生活移行に係る取組状況>

区分・年度	H30	R元	R2	R3	R4	R5
施設入所者の地域生活移行者数	9人	6人	6人	14人	25人	32人
施設入所者の削減人数	20人	30人	26人	35人	48人	55人
精神科病院入院1年時点の退院率	80.4%	78.3%	78.2%	調査中	調査中	調査中
地域生活支援拠点等の整備市町数(累計)	1/19	3/19	3/19	15/19	16/19	17/19

## ④ 総合的な就労支援

- ・ 能力や適性に応じた雇用の場に就き、地域で自立した生活を送ることができるよう、障害者就労・生活支援センターによる就業面・生活面の一体的な相談支援や、労働局等就業関係機関との連携による一般就労への移行及びその定着の支援を行ってってきました。

- ・ 一般就労が困難な障害のある人が、就労を通じて自立や社会参加を図っていけるよう、共同受注窓口の機能強化や農福連携マルシェの開催等により、就労継続支援B型事業所等の工賃向上に関する取組を推進してきました。

<一般就労・福祉的就労支援に係る取組状況>

区分・年度	H30	R元	R2	R3	R4	R5
一般就労移行者数	154人	161人	115人	151人	114人	154人
平均工賃(月額)	18,533円	18,915円	18,821円	19,570円	19,779円	調査中

### ⑤ 障害者スポーツ・文化芸術活動の振興

- ・ 「山を高く」、「裾野を広く」の2本柱により、トップアスリートへの支援や、キラリンピックへの競技種目追加等による参加者増加に向けた取り組みを通じて、障害者スポーツの推進を図ってきました。
- ・ 障害者芸術文化祭の開催や県庁あいサポートギャラリーの設置などにより、障害者文化芸術活動の充実を図り、障害者アートの普及啓発を行ってきました。

<障害者スポーツ・障害者文化芸術活動に係る取組状況>

区分・年度	H30	R元	R2	R3	R4	R5
障害者スポーツ競技団体登録選手数	807人	824人	830人	838人	855人	872人
障害者スポーツ指導者養成数	19人	13人	8人	11人	23人	10人
障害者文化芸術祭応募作品数	325点	294点	239点	265点	291点	272点

## やまぐちいきいきプランに係る主な取組状況

### I 障害への理解を深め、共に生きる社会の実現

指 標 名	現状値(基準年度)	実績値(年度)	目標値
あいサポーター数	11,168人(H28)	35,604人(R5)	90,000人
あいサポート企業・団体認定数	100社(H28)	292企業・団体(R5)	300企業・団体

### II 自立生活を支える基盤整備

指 標 名	現状値(基準年度)	実績値(年度)	目標値
発達障害者支援センターによる相談支援件数	1,864件(R元)	2,572件(R5)	2,000件
発達障害者支援センター等の関係機関の助言件数	111件(R元)	266件(R5)	160件
発達障害者支援センター等の外部機関や地域住民への研修回数	151件(R元)	189件(R5)	170件

### III 地域でともに暮らせる、住みよい生活環境の整備

指 標 名	現状値(基準年度)	実績値(年度)	目標値
施設入所者の地域生活移行者数	26人(R元)	32人(R5)	41人
施設入所者数の削減	55人(R元)	55人(R5)	40人
精神科病院入院1年時点の退院率	78.7%(H30)	調査中(R5)	85%
地域生活支援拠点等の整備数	3市(R元)	17市町(R5)	19市町

### IV 自立と社会参加に向けた雇用・就労促進

指 標 名	現状値(基準年度)	実績値(年度)	目標値
一般就労移行者数	161人(R元)	154人(R5)	226人
平均工賃(月額)	18,915円(R元)	調査中(R5)	20,246円

### V 個性と能力を発揮できる教育・社会参加

指 標 名	現状値(基準年度)	実績値(年度)	目標値
障害者スポーツ競技団体登録選手数	773人(H28)	872人(R5)	948人
障害者スポーツ指導者養成数	911人(H28)	1,053人(R5)	1,156人
障害者文化芸術祭応募作品数	315点(H29)	272点(R5)	375点

※ II～IVについては、「山口県障害福祉サービス実施計画（第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画）(R3～R5)」又は「山口県工賃向上計画（第4期）」で設定、管理。